

2022年12月11日

渡辺肇幸

我孫子オーデイオクラブ

今回「インドネシアのガムラン」をと声がかかりました。近年ユーチューブで、いろいろ鑑賞できるようになりました。

1 近年ガムラン音楽は人間の脳によいという説があります。本日は脳への良い影響をとどめ、お帰りください。ただし、この説には異議があります。ほとんど毎日ガムランを聴くバリやジャワの人と、そうでない人の間に、脳の違いがあるでしょうか。

2 ガムランはマレー民族の伝統文化、マレー人がいるところガムランあり。インドネシア、マレーシア、その周辺地域。その起源などわかっていません。ガムランは音楽だけでなく、舞踊、歌、芝居を含む総合芸術です。その深さや幅から、ガムランと言えば、中部ジャワとバリが有名です。本日はバリのガムランを聴きます。

3 本日聴く CD

わが国へのガムランの紹介者である、山城詳二氏（大橋力農学博士）が制作にかかわったものです。

「幻視と瞑想のガムラン」 JVC World Sounds 1985年1月 企画・構成：山城詳二
Gamelan Semarpegulingan [1] Tirta Sari Ensemble of Peliatan Village
バリ島プリアタン村のテイルタサリアンサンブルの演奏

- 1 タルナジャヤ 若い英雄をたたえる 約11分
- 2 ラジャパラ 羽衣伝説 約12分
- 3 クビヤール トロンボン 1930年代に創作 約7分
- 4 レゴンクラトン 12 - 13世紀東部ジャワ伝説に基づく約28分、たぶん省略。

4 ISI Institut Seni Indonesia インドネシア芸術学院、1985年創立、ジョクジャカルタ、デンパサールなど各地にあり。ガムランを学ぶわが国の留学生も多い。

5 参考資料：当日会場で回覧。

ブログ：手賀沼日記（で検索トップ）、Facebook は本名でやっています。

メール wt40328@ka2.so-net.ne.jp

以上